

# 本日の進め方について

2017年8月21日  
データ流通促進WG 事務局

## ■ データ流通促進WGの構成

- ▶ 今年度は2～3か月に1回程度開催（年度内6回程度予定）

（主な構成）

### 1. 事業者のユースケースの審議（原則、非公開で実施）

- データ流通を伴うビジネスに課題を持つ事業者を招聘し、技術・制度・社会受容性の視点等から、ビジネス展開の後押しとなるための助言を行う（年度内4回程度予定）

### 2. データ流通に関する共通課題の意見交換（原則、公開で実施）

- データ流通に関するテーマや分野等を設定し、関連する事業者等を集めて共通課題等について議論する。（年度内1～2回程度予定）
- テーマについては、産業界の意向等を踏まえ、関係各所と調整し、決定する。

本日のWGの位置づけ

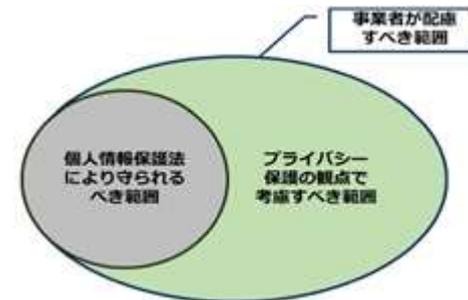


### ◎ 本日のテーマ：カメラ画像の利活用について

- 平成29年1月31日に「カメラ画像利活用ガイドブックver1.0」をリリースし、多方面から評価いただいている（本ガイドブックを参考にして、カメラ画像のビジネス活用の検討を始めた事業者が出てきている）。
- 他方で、本ガイドブックの改訂版に向けた検討（適用対象となるユースケースとして、レポート分析の追加など）を望む声も多く寄せられている。
- 事務局では、小売事業者等を対象にしてカメラ画像利活用についてのニーズ、及び事業者が抱えている課題（悩んでいること）を調査し、論点を設定したので、本日はそちらを基にして自由討議いただきたい。

## ➤ 前提

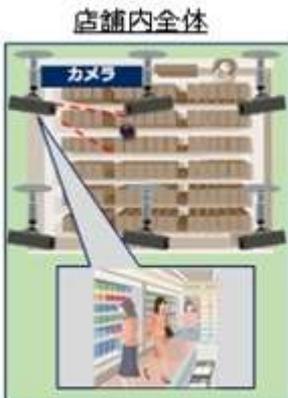
- 個人情報保護法等関係法令を遵守し、個人を特定する目的以外の目的（人数、動きのみをカウントするなど）でのカメラ画像の利活用を検討する事業者。（※防犯目的で取得されるカメラ画像の取り扱いは対象外）



## ➤ カメラの種類

（下記にあてはまらない類型については、別途検討が必要）

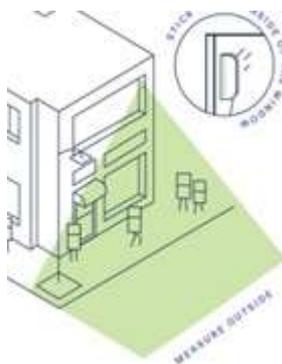
### ■ 特定空間（店舗等）に設置されたカメラ



- 入出の時点で画像を取得
- 特徴量データを抽出し人物属性を推定した後、速やかに撮影画像と特徴量データを破棄
- 空間内を人物等が行動する画像を取得し座標値を取得
- 動線データを生成した後、速やかに撮影画像と特徴量データを破棄

【レジ待ち時間の短縮等】 【品揃えの充実等】

### ■ 公共空間に向けたカメラ



- 通行する人・車等を識別
- 人・車等の数を計測した後、速やかに撮影画像を破棄
- 街中の看板・交通標識、及び道路の混み具合を識別
- 情報を抽出した後、速やかに撮影画像を破棄

【都市計画等】

【地図利便性向上】

### ■ 準公共空間（駅改札等）に設置されたカメラ



- 通行する人物を撮影
- アイコン化処理の後、速やかに撮影画像を破棄

【代替交通手段の検討等】

- ① 産業界におけるカメラ画像利活用の取り組みについて
  - 株式会社ABEJAより、カメラ画像利活用の取り組みについて紹介
  
- ② 新たなカメラ画像利活用のニーズと課題について
  - 事務局よりヒアリング結果の報告、及び本日の論点の説明
  - 論点に基づき、WG委員による自由討議
    - 自由討議の内容は、後ほどご説明します。